

## RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 3&amp;4 in Hockenheim

## 第4戦 決勝 レポート

4月28日(金) 第4戦予選 10位  
 4月30日(日) 第4戦決勝 3周目リタイア

レカロF3カップ第4戦の決勝レースが4月30日にホッケンハイムGPコースで行われた。前日の第3戦決勝同様、多少雲はあるものの陽の光が心地よく射し込むレース日和となり、併催のFIA公認ヒストリックレースシリーズ「ジムクラークリバイバル」に訪れた多くの観客が見守る中、F3の決勝レースがスタートした。過去3レースともクラッチミートのコツを掴むことができず、ホイールスピン気味のスタートが続いていた松村選手だったが、今回は0~100m加速が3.2秒という好スタートを切り、1つ順位を上げて、9番手で1コーナーに進入。各マシン入り乱れながら2コーナーを通過し、ヘアピンコーナー手前では5番手からスタートした#6 TUNG選手の直ぐ後方につけた。しかし、TUNG選手とテールツーンズ状態のままヘアピンコーナーに進入したところで松村選手は痛恨のスピン。これにより、19番手と順位を大幅に下げた。そして、迎えた3周目、チームメイトの#50 THOMAZ選手と並んでヘアピンコーナーへ進入したところ、出口アウト側でクラッシュした他のマシンがフラフラとコースに戻ってきてしまい、THOMAZ選手のアウト側にいた松村選手はインにもアウトにも避けることができず、そのマシンと接触。宙に浮き上がり、左リヤタイヤから着地した際にサスペンションを破損させ、そこでレース終了、リタイアとなってしまった。

結局、レースは開幕前からドイツ国内で超期待の新人として優勝候補の筆頭に上げられていた、昨年のフォーミュラBMWチャンピオンの#25 HULKENBERG選手がポールポジションからスタートし、一度もその座を明け渡すことなく初優勝を遂げた。

他の選手がシーズン開幕前に2,000~3,000kmのテストを行っている中、現時点までにドイツF3での走行距離が700km弱の松村選手にとって、このレースで貴重な走行経験を積むことができなかつたことが大変悔やまれる。しかし、今回のレース期間中に、次回5月13~14日にユーロスピードウェイノルウヰッツリンクで行われる第5戦/第6戦への参戦がほぼ確定的となり、「是が非でも次は上位に食い込みます！」と松村選手は早々に気持ちを切り替えていた。

## &lt;決勝後のドライバーコメント&gt;

苦手だったスタートを決めることができたのは良かったのですが、その後すぐにリタイアとなってしまい、決勝前に変更したウィングセットやギヤレシオの評価をすることができず、また走行経験も増やすことができなかつたのがとても悔しいです。でも、それも自分がスピンをしてしまったことが原因であり、次こそは金曜日の公式練習から全セッションでチェッカーフラッグを受け、しっかりと結果を残します。

## 第4戦 決勝レース

出走 30台

POS	No.	DRIVER	NAT.	GAP	BEST TIME
1	25	Nico HULKENBERG	GER	26:23.468	1:37.815
2	5	Ferdinand KOOL	NED	2.102	1:37.982
3	8	Rengervan der ZANDE	NED	2.365	1:37.931
4	3	Joey FOSTER	GBR	4.191	1:37.439
5	6	Ho-Pin TUNG	CHN	5.709	1:37.847
6	27	Riccardo AZZOLI	ITA	14.462	1:38.564
7	28	Salvatore GATTO	ITA	24.920	1:39.107
8	41	Johannes THEOBALD	GER	28.245	1:39.151
9	55	Natacha GACHNANG	SUI	30.221	1:38.990
10	42	Ronny WECHSELBERGER	GER	34.258	1:39.192
R	11	Hiroyuki MATSUMURA	JPN	-14laps	-----



第4戦決勝結果表 : <http://www.formel3.com/ergebnisse/2006-04-30-r2.pdf>